

田川内浄水場
膜モジュール取替洗浄業務 委託

仕 様 書

令和 7 年度

五泉市上下水道局

第 1 章 一 総 則 一

第 1 節 一般事項

1. 適用範囲

本仕様書は、五泉市上下水道局（以下「局」という。）発注の田川内浄水場膜モジュール取替洗浄業務に適用する。

2. 目 的

本業務は、五泉市田川内浄水場の膜モジュールのろ過性能回復を目的とし、膜モジュールの取替・薬品洗浄を行うものである。

3. 業務の遂行

本業務に当たっては、本仕様書および五泉市契約事務規則等に基づき、誠意を持って行ない、五泉市上下水道局指定監督員（以下「監督員」という。）と打合せのうえ施工するものとし、職員の指示を遵守するものとする。

なお、万一、仕様書等に疑義が生じた場合には、監督員と緊密な連絡を取り、その指示または承認を受けなければならない。ただし、この仕様書に記載されていない事項であっても当然必要と思われる事項については、請負者の責任において検討を行い、その成果を添付するものとする。

4. 施工場所および契約期間

本業務の施工場所および契約期間は、下記のとおりである。

施工場所

新潟県五泉市 小面谷 地内

契約期間

契約日より令和 8 年 3 月 3 1 日まで

5. 準拠規格

本業務に使用する機器材料ならびに施工基準については、下記の諸規格、基準等を適用する。

- 1) 建築基準法
- 2) 消防法および条例
- 3) 労働安全衛生法
- 4) 水道法
- 5) 日本産業規格 (JIS)
- 6) 日本水道協会規格 (JWWA)
- 7) 公共建築工事標準仕様書等
- 8) その他関連法令、省令、条令及び規格

6. 官公署および関係各所への手続き

本業務に対し、監督官庁および関係各所等への手続きに関する申請書類製作等は、一切請負者が代行し、それに要する費用は全て請負者が負担する。

7. 提出書類

- 1) 工事着手時
 - (1) 着手届 1 部
 - (2) 現場代理人主任技術者届 1 部
 - (3) 工程表 1 部
- 2) 工事中の書類
 - (1) 緊急連絡先通知書 1 部
 - (2) 下請負者承認申請書 1 部
 - (3) 実施工程表 1 部
 - (4) 作業資格免状等の写し 1 部
 - (5) 工事打合簿 都度 2 部
 - (6) 段階確認書 都度 1 部
 - (7) その他 その都度決定
- 3) 完成時の書類
 - (1) 工事完成通知書 1 部
 - (2) 工事完成図書 1 部
 - イ) 品質管理試験 (試験結果成績表)
 - ロ) 施工図
 - ハ) その他、監督員が指定するもの
 - (3) 工事記録写真帳
紙ベース写真帳 1 部
CD等電子記憶媒体 1 部
工事の流れが分かるようにすること。以下のものを含む。
 - (4) 安全管理書類等 1 部
 - イ) 工事打合簿
 - ロ) 段階確認書
 - ハ) 作業資格免状等の写し
 - ニ) その他、安全に関する書類
 - (5) その他、監督員が指定するもの その都度決定

8. 資料の貸与

請負者に対し、本業務に必要な関係資料を貸与するものとする。請負者が貸与資料を必要とするときには、職員に申し出て指示を受けるものとする。貸与した資料については、丁重に扱い、業務完了後、速やかに職員に返却すること。

また、業務途中、資料の必要を認めるときには職員に申し出て指示を受けるものとする。

9. 用地の使用

無償貸与以外の民有地などを利用する場合は、すべて請負者の負担と責任において行うものとする。

10. 試験及び検査

本業務における試験及び検査に要する費用は、請負者の負担としなければならない。

11. 身分証明書の携行

請負者は、現場において作業従事者に対し、名札等の身分が証明できるもの必ず着用させ、作業資格免状等も必ず携行させること。

12. 安全・衛生教育

- 1) 請負者は、本業務の施工にあたって、労働安全衛生に関する諸法令を遵守し、作業従事者に対して常にこれを徹底させるとともに、労働災害防止に万全の対策を講じること。
- 2) 請負者は、本業務の施工にあたって、作業従事者に対し、安全教育および衛生教育を徹底させること。

また、本業務施工箇所は浄水処理施設であることから、水道法 21 条に規定する検便検査を本業務施工前までに作業従事者に実施(工期完了日から逆算して 6 ヶ月以内のものであれば可とする。)し、その結果報告書を提出すること。

13. 機能保持

請負者は、業務完了の際、竣工検査までの機器の機能保持に必要な措置を講じなければならない。

14. 負担区分

業務に必要な消耗材料及び工具類は、請負者が負担すること。

15. 保証区分

万一、請負者の責任となる施工等が原因で、機械・器具類の故障及び破損等が生じた場合は、請負者の負担において速やかに修理または代品にて取替を行うこと。

第 2 章 一特記仕様一

1. 業務概要

五泉市田川内浄水場の膜モジュール(2本)の薬品洗浄を2回、膜モジュール(2本)の取外し、取付けを2回、膜ろ過装置試運転及び調整を2回行うものである。

2. 機器概要

1) 膜ろ過ユニット

| | |
|------|---------------|
| 型 式 | UF膜ろ過装置 UT1×2 |
| 製造者名 | 水道機工(株) |
| 通水方式 | 全量性外圧方式 |
| 台 数 | 2系列×1基/系列 計2基 |

2) 膜モジュール

| | |
|-------|-----------------------|
| 膜 種 類 | 中空糸型 限外ろ過膜(UF膜) |
| 型 式 | 縦ケーシング一体型 HFU-1020 |
| 製造者名 | (株)東レ |
| 膜ろ過法 | 外圧式全量ろ過方式 |
| ろ過面積 | 29m ² /本 |
| 分画分子量 | 150,000Da |
| 材 質 | 中空糸 PVDf ケーシング PVC |
| 数 量 | 2系列×1本/系列 計2本 |

3. 業務範囲

- 1) 第2項2)記載の膜モジュールの取付け及び取外し
- 2) 第2項2)記載の膜モジュールの薬品洗浄
- 3) 上記1)～2)に伴う取替品の撤去処分
- 4) 膜モジュール薬品洗浄取付け後の第2項1)記載機器の試運転調整
- 5) その他、本業務に伴う諸工事

4. 特記事項

1) 膜モジュールの交換時期について

膜の交換時期は、監督員と十分協議し決定する。交換時期の目安としては、1系2系の膜入口圧力がともに160の数値を超えたときとする。

2) 取替作業について

長時間の断水作業が不可能な施設であるため、膜モジュールを取外すときは、膜ろ過装置のどちらか一方を通水可能(膜ろ過可能)な状態とし、処理水量20m³/日の運転を確保すること。

ただし、やむを得ず断水作業が必要な場合は、事前に監督員に申し出を行い協議すること。

3) 作業時断水可能時間

田川内浄水場の断水可能時間は、以下の通りである。

昼：10時～16時の間に最大6時間

詳細については、事前に監督員と十分協議し、浄水場の業務に支障にならないようにすること。

4) 電源

- ・100V電源は、20Aまで供給可能。
- ・200V電源は、30Aまで供給可能。